

○ 熱気に包まれた新春写真講座 2月5日(日)開催!

写真家土田ヒロミ氏をお迎えして、静岡駅パルシェ会議室で

恒例の新春写真講座は、受講者が85名。そのうち作品提出者31名という「熱い」会となりました。(作品提出希望者はそれ以上ありましたが、時間の関係もあり、なんとかぎりぎりのこの人数にさせていただきました。)

土田先生の『一人ひとりのよさを見つけてあげたい!』というメッセージに応える会の運営を考えました。それには、受講者の写真をスクリーンに投影し、その写真について土田先生からお話をいただくという形。それもできるだけ多くのおみなさんの写真を見ていただくという企画を考えました。

チラシはもちろん、静岡県本部ホームページや、各支部のホームページ担当者からの働きかけなどを通して、予想以上に早く定員をオーバー。締め切りを過ぎても問い合わせが相次いだという状況でした。

さらに最終的な土田先生との打ち合わせのなかで、先生から「一枚だけを見ての助言には無理がある。その人の写真をもっとたくさん見ないと。」というお話がされました。そこで、写真の提出者30数名に連絡し、講師の土田先生の願いをお伝えした所、みなさんが日頃撮っている写真を10枚、20枚と意欲的に持ってきてくださったわけです。

◎参加者は以下の通りでした。

- ・ 御殿場支部2名 裾野支部6名、三島支部4名、沼津支部8名、富士宮支部8名、富士支部6名・清水支部1名、駿河湾支部12名、静岡支部3名、静岡'99支部3名、若草の会支部3名、静岡'01支部3名、静岡デジタルフォト支部9名、藤枝支部2名、浜松支部1名、浜名湖支部1名、個人会員3名、一般10名

(一般参加者の中には、青森県の八戸からの女性もいらっしゃいました。)

◎さっそく寄せてくださった感想をご紹介します。

帰りの電車の中でも、畠、内野、はじめ沼津支部の方々とも話しましたが、「面白かった」と言うのが結論です。事務局はじめお手伝いの方々にはさぞかし大変だったとは思いましたが、プロジェクターを使っただけのああいう解説の仕方は、高校の写真部や大都市での講演会ではよく見受けられますが、あのやり方であれば写真を提出していない方々にとっても面白く、且つ有益だったと思います。ただ残念だったのは当然と言えば当然ですが、講評対象の人数が多すぎて、一人あたりの時間がちと短いなと感じました。

(沼津支部 神尾一さんより)

○ 秋季大撮影会の表彰式が行われました。新春写真講座と同日、同会場!

全日本写真連盟総本部事務局長の朝日教之氏も東京から駆けつけてくださり、新春写真講座の講師土田ヒロミ氏、メーカー賞を代表して静岡市の杉山写真材料店の杉山元宏氏、関東本部委員の薩川高宏氏、畠仁史氏そして中村勝利県本部委員長のおみなさんがプレゼンターをしてくださいました。最優秀賞の加藤利光さんをはじめ、41名の受賞者のおみなさん、おめでとうございます。この撮影会は、24年度は6月「吉原の祇園祭」をメインに行われる予定です。

○ これで、本年度の静岡県本部3大事業が無事すべて終わりました。

各支部のご協力に感謝します。支部への働きかけをしてくださった支部長さん、本部HP担当者のおみなさん、そして支部員のおみなさん、ありがとうございました。そして事務局のおみなさん、ご苦労様でした。次年度も、どうぞ、よろしくお願ひいたします。(事務局長・中村明弘)